

保幼少中一貫教育を推進する東通村では、子ども達が豊かな感性を発揮し合い、10月2日（金）にはこども園ひがしどおりで音楽発表会が、10日（土）には東通中学校文化祭が、17日（土）には東通小学校学芸会が開催されました。

こども園ひがしどおり音楽発表会

こども園ひがしどおりでは、今年で9回目を数える音楽発表会が開催され、「子ども×音楽」＝未来の扉を開く力を子ども達なりに精一杯披露しました。

第1部では、4歳児うみ組による合唱「ありのうた」で幕を開け、続いてかぜ組が「生きてる 生きてく」を披露しました。

第1部の最後に4歳児による合奏「GASSHOW」を披露。初めて楽器を触ったとは思えない演奏で会場を大いに盛り上げました。

第2部では、5歳児そら組による「カサブタ」で幕を開け、次につき組が「YUME 日和」を披露し最後に、ほし組が「ハルウタ」で合唱を締めくくりました。

第2部の最後に5歳児による合奏「残酷な天使のテーゼ」「ドラクエメドレー」の2曲を披露。圧巻の演奏で会場中を魅了しました。



第1部 4歳児による合奏「GASSHOW」



第2部 5歳児による合奏「アニソンメドレー」



1年生による表現「スイミー」



6年生アンコール後の集合写真

東通小学校学芸会

小学校学芸会は、「Dance Song レボリューション～東小から元気をおくります～」のテーマのもと開催されました。

普段は別のクラスに分かれた各学年の子供たちが、1つの学年として臨みます。学年毎に趣向を凝らし、個性いっぱいの音楽や表現に会場は笑顔と感動に包まれました。

どの学年も舞台いっぱいの発表で、最後を飾る6年生の発表は「ピースサイン～いのちの歌～」。ダンスと合唱を披露し、会場を魅了しました。コロナ禍で迎えた小学校最後の年、様々な想いを抱えた中での学芸会。今の状況に負けないという強い気持ちを伝え、会場では涙する姿も見られました。

東通中学校文化祭

第13回中学校文化祭は、生徒会テーマ「挑戦 ～下北一への物語 完結編～」のテーマのもと開催されました。

今年は、新型コロナウイルス感染予防の為、例年とは違い午前のみと短い時間での開催となりました。

最初に、開会セレモニーが行われ、人気バラエティ番組をモチーフにした制作映像が上映され、会場が笑い声で包まれました。映像内ではモザイクアートや展示品の紹介もあり、拍手が巻き起こりました。

次に英語スピーチで自慢の英語力を披露し、吹奏楽演奏では演奏終了後に会場からアンコールの声が飛び、それに応えていました。

その後、合唱コンクールでは、各学年とも練習期間が短かったにも関わらず、息の合った素晴らしい歌声を披露していました。

最後に、全校生徒が『鳴子踊り』を披露し、盛大な拍手の中、文化祭は幕を降ろしました。



吹奏楽演奏「男の勲章」他



全校生徒による鳴子踊り